

令和3年 2月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★2月の星空案内

今月の星座探しは、南の空で輝く、等間隔に並んだ3つの星“三つ星”が目印のオリオン座から始めます。“三つ星”の北東（左上）で赤っぽく輝く1等星はベテルギウス、南西（右下）で青白っぽく輝く1等星はリゲルです。オリオン座の“三つ星”を南東にのばしていくと、全天で最も明るく輝くおおいぬ座の1等星シリウスが見つかります。そして、オリオン座の東側で明るく輝く星がこいぬ座の1等星プロキオンです。このプロキオン、ベテルギウス、シリウスを結んでできる三角形が『冬の大三角』です。オリオン座のリゲルとベテルギウスを結んだ線を北東にのばしていくと、ふたご座の1等星ポルックスと2等星カストルが並んで輝いているのが見つかります。そしてその西側で黄色っぽく輝いているのが、ぎょしゃ座の1等星カペラです。さらに、オリオン座の“三つ星”を北西にのばしていくと、オレンジ色っぽく輝くおうし座の1等星アルデバランが見つかります。2月下旬にはこのアルデバランに、赤っぽく輝く火星が日に日に接近していく様子も楽しむことができます。冬の夜空で明るく輝く6つの1等星、リゲル、シリウス、プロキオン、ポルックス、カペラ、アルデバランを結んでできる大きな六角形は『冬のダイヤモンド』です。

冬の夜空で明るい1等星をつなぎ、美しい冬のダイヤモンドの輝きを楽しんでみてはいかがでしょうか。

< 現在見える惑星 >

水星(2.4等前後): やぎ	夜明け前、東南東の低空で輝く。(下旬)
金星(-3.9等前後): いて→みずがめ座付近	観測に適さない。
火星(0.7等前後): おうし座付近	20時頃、南西の空で赤っぽく輝く。
木星(-2.0等前後): やぎ座付近	観測に適さない。
土星(0.7等前後): やぎ座付近	夜明け前、東南東の低空で輝く。(下旬)

注目の天文現象 ～見ると長生きができる星「カノープス」を観察しよう～

2月は、りゅうこつ座の1等星カノープスを見つけやすい時期です。中国ではこの星を「南極老人星」と呼び、一目でも見ることができれば、健康で長生きができるという言い伝えがあるそうです。日本では南の低空で輝いているため、見つけにくい星として知られており、日本の北の地域では見ることはできません。福岡では、南中高度(南の空で最も高くなる時の高度)が4度ほどなので、南側が地平線まで見えるような場所なら見つけることができます。

そんなカノープスの見つけ方は、オリオン座のベテルギウスとこいぬ座のプロキオンの真ん中あたりから、おおいぬ座のシリウスに向けて視線を移し、そのまま地平線あたりまでのばしていきましょう。もともとカノープスは、シリウスについて全天で2番目に明るい白色の恒星ですが、低空にあるため地球の大気の影響を受け、実際の明るさよりも暗く、赤みがかかった色に見えています。22日の午後8時には、月齢10.7の半月よりも少し膨らんだ月が、カノープスの真上あたりで輝いているので、この日は月を目印に探すのもお勧めです。

見ることができれば健康で長生きできるめでたい星、ぜひ2月の夜空で探してみてください。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
3	水	立春 (23:59)	19	金	月と火星が接近
5	金	☾ 下弦 (02:37)	20	土	☾ 上弦 (03:47)
12	金	● 新月 (04:06)	27	土	○ 満月 (17:17)